

大学自己評価部会だより

第14号 (平成21年11月)

大学の理念

1. 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

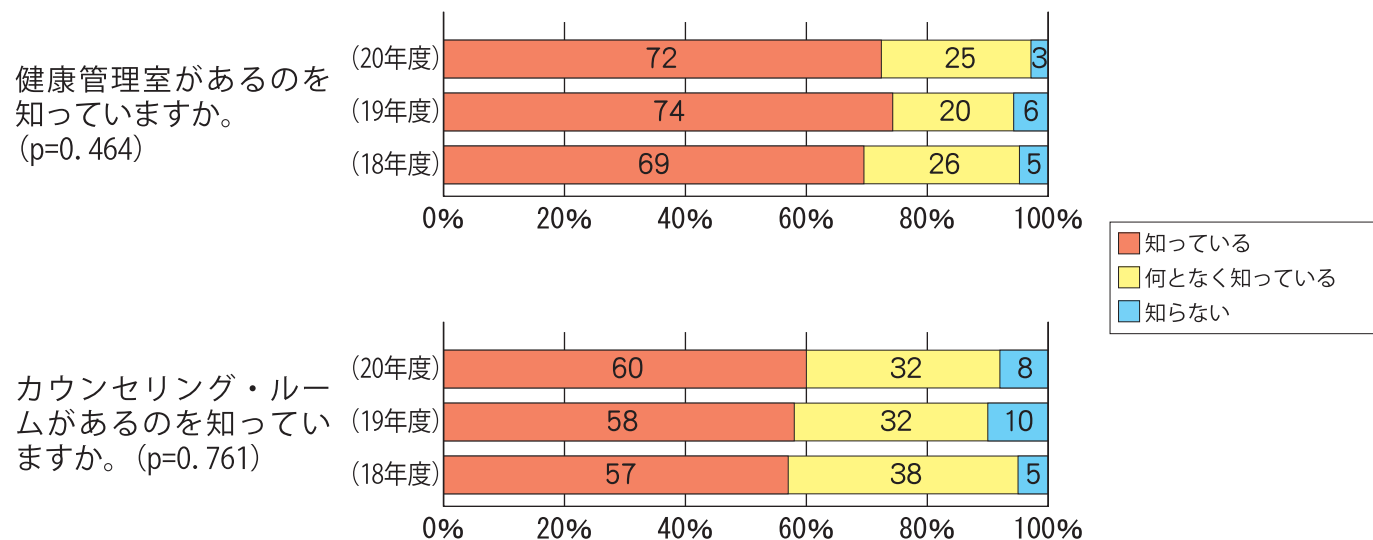
(理念1：新学科の設置申請にともない文言を変更)

アンケート調査結果を報告

学生の実態把握に関するアンケート調査に関し、健康に関する相談室の認知度やアルバイトの状況などについて、平成18年度・平成19年度・平成20年度の3年間を比較しました。有意差を示すP値にはKruskal-Wallis 検定を用いました。

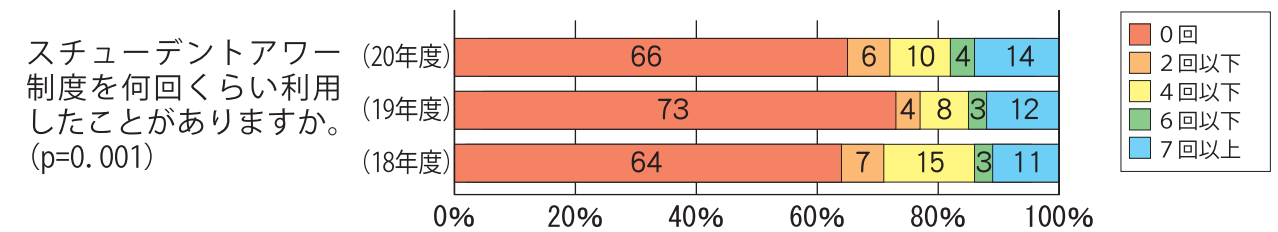
1) 健康に関する相談室の認知度

健康管理室とカウンセリング・ルームの存在を知っている割合はかなり高いのですが、3年間有意な増加傾向はみられず、今後さらに認知度を上げる努力が必要と考えています。



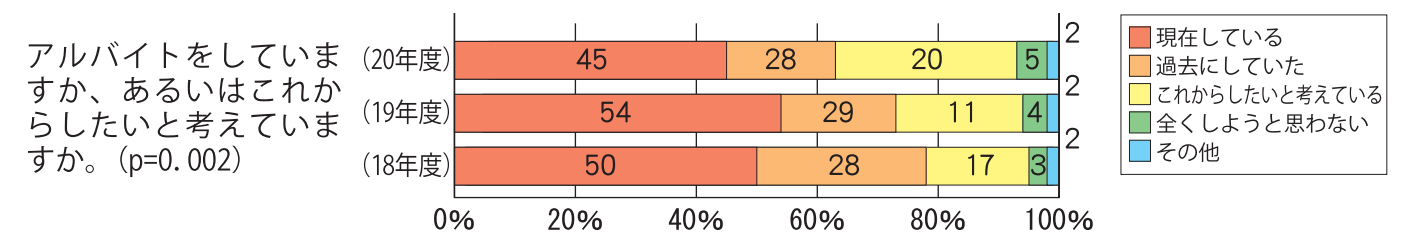
2) スチューデントアワー制度の利用

全体的に大きな変化は認められませんが、頻度高く利用している学生の割合並びに1・2年生の利用が高くなってきています。



3) アルバイト

アルバイトをしたいと思っている人は多いのですが、実際にしている人は平成20年度には減少しました。



4) 奨学金

本学の奨学金制度を知っている割合は若干増加傾向にありますが、制度として充実していると思う割合は逆に若干減少傾向にあります。

